

2011 Xmas コンサート

SK松本ジュニア合唱団



長野県県民芸術祭参加

2011年12月24日(土)
開演14:00

長野県松本文化会館大ホール

主催 SK松本ジュニア合唱団
(財)長野県文化振興事業団(長野県松本文化会館)
長野県 長野県教育委員会
後援 松本市 松本市教育委員会 信濃毎日新聞社
市民タイムス SBC信越放送
テレビ松本ケーブルビジョン
SK松本ジュニア合唱団後援会



昨年のクリスマスコンサート「ふしぎの国のアリス」より





SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

ごあいさつ

本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK松本ジュニア合唱団2011クリスマスコンサート」にご来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は1993年のSKF(サイトウキネンフェスティバル)が上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SKの文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、18年の歴史を重ねるまでになりました。

今年も様々な活動に取り組んでまいりました。「第22回長野県少年少女合唱祭」への参加や「ふれあい看護ながのin 中信」での演奏、更には世界の要人が集まり松本市で開催された「国連軍縮会議」ではオープニングセレモニーでの演奏やイベントとして開催された「平和祈念コンサート」、FM長野の公開録音「愛こそはすべて」などにも出演することができました。こうした様々な体験こそが子ども達の感性を育み、音楽はもちろんですが生きる力となっていくものと信じています。これからもこうした活動を通して、地域に愛されながら人としても優しく・逞しく育つような合唱団を目指して参ります。

コンサートは合唱団創設15周年事業で訪問したザルツブルグの教会にも響いた天使の歌声のようなミサ曲からスタートです。まさに天使が降り立ったような素晴らしいハーモニーをお楽しみ下さい。第二ステージの「私たちにできること」は国連軍縮会議での演奏を記念して平和の歌をテーマにしています。国連軍縮会議で団員が朗読した「平和へのメッセージ」のように、平和への思いが多くの人に伝わればと思っています。

第三ステージでは昨年に続き演出家の菊池裕美子先生をお迎えしてアリスに取り組みました。「ALICE～心のカリヨンを鳴らす時～」はミュージカル・ファンタジーとしてアリスの不思議な世界を自分達の生活と重ねながらお楽しみください。

本日のコンサート開催にあたり、改めてご指導の先生方、長野県松本文化会館関係の皆様方、またご支援を頂いている多くの方々に感謝申し上げます。これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げます。ごあいさつと致します。本日のコンサートを充分にお楽しみ下さい。

困難を乗り越えて

3.11東日本大震災と福島第一原発事故による放射能汚染、6.30松本の地震が重なって、大袈裟かも知れませんが、クリスマスコンサートが開けるとは思えませんでした。困難を乗り越えて開かれたことに、まずは「おめでとうございます」

今回のステージに館長が注目する点は三つ。ひとつは福島で被災した詩人・和合亮一さんの「つぶてソング」。「あなたはどこに居ますか。あなたの心は風に吹かれていますか。あなたの心は壊れていませんか。あなたの心は行き場を失っていませんか」。子供たちはこの詩をどんな気持ちで歌うのでしょうか。指揮をする佐原玲子先生は「皆でなにができるか、考えながら歌いたい」

ふたつ目は平和への祈り。今年7月に松本市で国連軍縮会議が開かれました。そのイベントの平和祈念コンサートと軍縮会議開会式で「ありがとうございました」を歌ったと聞きました。各国語で感謝をつぶただけの歌ですが、中1女子は「歌っている時に外国の人と目が合い、笑顔で楽しそうに聴いてくださった。(中略)涙を流している人もいました。歌の力のすごさを感じました」

この気持ちがコンサートの「地球星歌」や「広い世界へ」にどう反映されるのでしょうか。

三つ目はアリス。昨年と題名は同じですが、「内容的には上で、難しいテーマ」(佐原先生)。空想の世界に入り込んでなかなか抜け出せない若者を題材にしています。SKジュニアも歌っているから、皆元気と思ったら、大違い。アリスシンдрームから目覚めて社会復帰していく過程をうまく表現できるか。

「本当の歌を歌える子にしたい」。佐原さんの思いを子供たちがどう受け止めるか。クリスマスイブは真剣勝負の場でもあるんだと改めて思いました。



長野県松本文化会館
館長 恒川昌久



プログラム



指 揮 : 佐原玲子 / 白澤知代
 ピ ア ノ : 渡辺かおる / 井垣里沙
 指導助手 : 片瀬友美

オープニング

クリスマスソング・メドレー

第1ステージ

Messe brève no.7 in C

Charles Gounod 作曲

Kyrie
 Gloria
 Sanctus
 O salutaris hostia
 Agnus Dei

第2ステージ

私達にできること

あなたはどこに

詩：和合亮一／作曲：新実徳英

フルサト

詩：和合亮一／作曲：新実徳英

地球星歌^{せいか}～笑顔のために～

作詞・作曲：ミマス／編曲：富澤裕

広い世界へ

作詞：高木あきこ／作曲：橋本祥路

ほらね、

作詩：いとうけいし／作曲：まつしたこう

上を向いて歩こう

作詩：永六輔／作曲：中村八大／編曲：北村協一

信じる

作詞：谷川俊太郎／作曲：松下耕

TOMORROW

作詞：岡本真夜・真名杏樹／作曲：岡本真夜／編曲：桜井千里

～ 休 憩 ～

第3ステージ

ALICE 心のカリヨンを鳴らす時

作詞・台本：村田さち子 作曲：白石哲也
演出：菊池裕美子

1. ウサギ穴の迷路
2. アリスの時間
3. ふしぎなキラキラ星
4. 時の宇宙
5. 誰かに会うために

この「アリス」は時間や数字、慣れない環境に追われ、自分自身を失っていた「私」が、家族や友人、自然との関わりの中で、新たな自分を見つけ、旅立って行く、というお話です。皆さんの心のなかにも「カリヨン」を鳴らす時が来るのでしょうか？

演出：菊池裕美子 (きくち ゆみこ)



声楽を東敦子、中川順子、益田雅子各氏に学び、昭和音楽大学声楽科卒業後、渡伊。イタリアオペラ台本を学ぶ。新国立劇場、東京二期会、サントリーホールオペラ、佐渡裕プロデュースオペラシリーズ、サイトウキネンフェスティバル、日生劇場などで、デニス・クリエフ「影のない女」「マリア・ストゥアルダ」「トゥーランドット」、ガブリエーレ・ラヴィア「フィガロの結婚」、マリオ・マルトーネ「オテッロ」、白井晃「オテッロ」、広渡勲「こうもり」、高島勲「トロヴァトーレ」「オルフェオとエウリディーチェ」、高瀬久男「魔弾の射手」、國松真知子「フィガロの結婚」「カルメン」他の演出助手を務める。又、日本人として初めて、ヴェネツィアのフェニーチェ劇場、ナポリのサン・カルロ劇場で演出助手を務めた。2008年サントリーホールアカデミー公演「フィガロの結婚」(ニコラ・ルイソッテイ指揮)で演出家デビュー。東京都交響楽団スペシャルオペラ「トスカ」(マルコ・ボエーミ指揮)サントリーホールオペラアカデミー公演「ボエーム」ライブハウスオペラシリーズ「マクベス」「ボエーム」を演出する。現在、桐朋学園大学声楽科オペラクラスにおいて後進の指導にあっている。



今年一年の活動



1/10

長野県合唱講習会(長野県松本文化会館)

3/21

団内スプリングコンサート・卒団式(長野県松本文化会館)



涙の卒団式。



学年ごとに素敵な歌声の発表。



毎年恒例親子でハレルヤ大合唱。

4/17

「万葉歌碑祭」出演(薄川の畔にて)



満開の桜の木の下での発表。



おいしい万葉汁を頂きました。

2月と4月 ら・ら・ら月間



うたの好きなお友達を誘ってSKジュニアの体験をしてもらいました。

5/15

「第22回長野県少年少女合唱祭」(駒ヶ根市・駒ヶ根文化会館)



本番前もしっかり練習します。



ボーイズも真剣です。

5/14

「ふれあい看護の日」出演(看護総合センターながの)



「看護の日」のオープニングイベントに出演しました。



県内10合唱団が集まって歌で交流しました。

第23回国連軍縮会議・in・松本

7/27

オープニングセレモニー出演
(ホテルブエナビスタ)



各国の方々を歌でお迎えしました。



松本市を代表して平和のメッセージを読み上げました。

7/23

イベント「記念講演及び平和祈念コンサート」出演
(浅間温泉文化センター)



世界の国の音楽で「ありがとうございました」を歌いました。

コンポフィル主席
指揮者の
柳澤寿男さん



7/17

イベントFM長野公開録音
「All You Need is LOVE～愛こそすべて～」出演
(あかたの森文化会館)



平和についてのトーク&ライブの後、清水まなぶさんと普天間かおりさんとの大合唱。

8/10-12

夏合宿(松本青年の家)



大きな子が小さな子をひっぱって、みんなで作る楽しさをつくります。



声を合わせて-心を合わせて。



チビっ子もがんばりました。



三日間お疲れ様。みんなが楽しみにしていたスイカ割り。



合宿前より仲良しになった仲間との一枚。